

松江圏域地域医療構想調整会議 議事概要

【会議名】 令和4年度松江圏域保健医療対策会議 医療・介護連携部会

【日時】 令和4年12月26日（月）13:30～15:30

【場所】 松江合同庁舎 2階 講堂（web併用）

【出席者】 病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会、島根県保健者協議会、全国健康保険協会島根支部、島根県老人保健施設協会、老人福祉施設協議会、介護支援専門員協会、在宅医療支援センター、各市等

【議事内容】

1. 報告事項

- 1) 医療・介護資源の現状について 【資料1】
- 2) 地方公共団体における公立病院経営強化プラン策定について 【資料2】
- 3) 外来医療計画に基づく紹介受診重点医療機関について 【資料3】

2. 意見交換

3. その他

- 1) 松江赤十字病院と松江市立病院の連携協定について
- 2) 松江市立病院 公立病院経営強化プラン策定について
- 3) 新規医療開設者に求める事項の同意状況、医療機器共同利用計画書の提出状況

【資料4】

2. 3. については「非公開」で実施

【主な意見・協議結果】

1. 報告事項

- 1) 医療・介護資源の現状について報告。質問なし。
- 2) 公立病院経営強化プラン策定について説明。質問なし。
- 3) 紹介受診重点医療機関について説明。質問なし。

2. 意見交換

【確認事項】

- ①3次救急医療を守るため、誤嚥性肺炎の初期治療は急性期病院で行い、リハビリや再発予防を含めた指導は慢性期病院で行うことを確認した。
- ②誤嚥性肺炎予防について、松江市3師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会）、介護保険施設、訪問看護ST、ケアマネジャーの取組を共有し、引き続き各団体に誤嚥性肺炎の予防を取り組む方針を確認した。
- ③参加機関は、松江市病病連携推進会議（事務局：松江市在宅医療・介護連携支援センタ

一) が R3 年 1 月に作成したリーフレットを所属機関内に周知し、市民啓発に協力することを確認した。

【主な意見】

1) 新型コロナウイルス感染症による影響について

(各病院)

- ・患者数の増加に加えて医療スタッフの感染によるマンパワー不足となり、十分な医療提供が困難となる経験をしている。
- ・救急外来が発熱患者の対応にほとんどの時間を費やす場合がある。

(施設)

- ・高齢者が感染した場合、認知症により隔離が困難な場合がある。
- ・スタッフの感染でマンパワー不足となる経験がある。

2) 誤嚥性肺炎について

(急性期病院)

- ・誤嚥性肺炎患者数の多さ、入院期間の長期化について問題提起。
- ・救急医療提供体制の確保のため、回復期・慢性期病院に対して誤嚥性肺炎患者の転院受け入れ、市民や医師会員に対しては転院への理解を求める。

(回復期・慢性期病院)

- ・転院、治療継続について受け入れの意思を示す。

(医師会)

- ・令和元年に誤嚥性肺炎の治療、予防を目的とした『誤嚥性肺炎予防マニュアル』を作成し介護者および施設職員を対象に配布済み。

(歯科医師会)

- ・誤嚥性肺炎予防の研修会を計画中。

(訪問看護ステーション)

- ・在宅での誤嚥性肺炎予防の取組み、家庭での問題点や病院への要望について発言。

(施設)

- ・誤嚥性肺炎予防についての取組み、終末期を考慮した ACP 策定の重要性を説明。

(介護支援専門員協会)

- ・訪問リハビリの需要の高さと嚥下機能のリハビリを担う言語聴覚士の不足を報告。

(病院医師)

- ・各患者の病態を判断し、柔軟な対応と終末期を含めた長期的な計画の作成が必要。

3) その他意見

(施設)

- ・心不全患者が増加しつつあり、そちらの対応も今後必要となると提言。
- ・施設の状況について、施設はあるが働く職員がいないことが問題であると報告。

3. その他

- 1) 松江赤十字病院と松江市立病院の連携協定について報告。質問なし。
- 2) 松江市立病院 公立病院経営強化プラン策定について報告。質問なし。
- 3) 新規医療開設者に求める事項の同意状況、医療機器共同利用計画書の提出状況について報告。質問なし。